京城日報
朝刊
本日朝夕刊共八頁

社説　血迷へる非道

大本營の發表によれば、我が病院船は、去る十日南支那海において敵潜水艦の攻撃を受け沈没したといふ。さきに各所において行はれたる非人道的行爲とともに我らはこの相次ぐ米英軍の不法極まる行爲に對して驚くといふよりも寧ろ茫然たらざるを得ない。その人道を無視したる残虐極まる行爲にたゞ悲憤の涙を禁じ得ないのである。いふまでもなく軍用病院船の攻撃は、明治四十五年一月海牙において締結せられたる「ゼネヴァ條約の原則を海戰に應用する條約」において、更に遡つて明治十九年十一月十五日ゼネヴァにおいて締結の萬國赤十字條約第一條において、これを攻撃破壊し得ざる旨、嚴重に規定されてゐるのである。從つて今回の彼らの暴戻極まる行爲は、國際法規上の正しき道に反したるのみならず、正義人道上斷じて許し難き蠻行といはねばならぬ。

如何に連戰連敗の苦痛に血迷ひたりとは云へ、非戰鬪員たるものを虐殺し、或は非戰鬪員にも等しき我が忠勇なる傷病兵を收容する病院船を撃沈したることは、天人倶に許さゞる悪逆無道の行爲として、我らの斷じて默過し得ない處である。この米英の非人道振りは想ひ起す往年のシベリヤ出兵當時の尼港事件や今次事變勃發時頻發した通州事件にも比すべき鬼畜の振舞で、人のリンチ事件を持ち出すまでもなく、平然と敢行されてゐる。

苟くも今日自任する國は、戰鬪、非戰鬪員たるとを問はず、これを殺戮するものである。總じて彼らの行動は、およそ彼らがつねに口にする正義人道主義なるものゝ實體が如何なるものであるかを暴露するもので、あつて、彼らの残虐性は、平時においてさへ默して許し難き蠻行といはねばならぬ。

翻つて米英のこの非道に反して、皇軍の敵國人に對する態度は如何であるか。その國民性の優劣、道徳心の高下は戰爭の場合において初めて判る。卽ち軍の占領下における敵國非戰鬪員若くは捕虜等に對する處遇如何によつてそれが立派に現はれるのである。日清、日露兩戰役や歐洲第一次大戰當時の我軍當局と國民一般の態度はいふまでもなく、今次對米英戰においても、非戰鬪員は勿論、病院船車等を攻撃したる事實はなく、或は開戰劈頭に於ける在支敵國人に對する寛大なる我が方の處置の如きは、彼らをして皇軍の武士道的精神に感激せしめてゐるのである。又內地在住の米英人と敵性各國人に對しても警察は厚き保護を加へてをり、更に支那各地の租界に於ては依然營業を許してゐるといふ實に寛大極まるものである。

かくの如くその人道的態度に於て我が國はキリスト教國を遙に凌駕してゐるのである。我らはこの帝國の措置と野獸にも劣る彼らの非人道振りとを思ひ比べて云ふべき言葉を知らず、たゞ一途に憎しみを加へるばかりである。今後戰爭の發展とともに斯かる彼らの蠻行は或は續出するかも知れぬ。我ら國民はこの度重なる彼らの悪辣な暴戻行爲を默して忘れてはならない。米英もまた當然これが報復を覺悟すべきである。

赤道直下に　又も新戰場を擴大
海鷲東蘭印・ニューギニヤを攻撃
敵基地を蹂潰し爆碎

大本營發表（十五日午後三時）一、帝國海軍航空部隊は十二日セレベス島中部東岸トモリ灣コロネダレ水上航空基地を攻撃し飛行機格納庫大小九棟、兵舍二群その他を爆破炎上せしめ、その一部隊はジロロ島テルナテを攻撃し大倉庫一棟を爆破、五ケ所に大火災を生ぜしめたり　二、帝國海軍航空部隊は今十五日までにニューギニヤの西部バボ、ソロン、マラツカ諸島アンボン、ニューブリテン島のラボールなどに對し數次攻撃を敢行しその重要軍事施設を炎上または爆破せり

敵潜水艦二隻を撃沈

大本營發表（十五日午後三時三十分）一、帝國海軍艦艇は九日わが航空部隊と協力し○○方面において敵潜水艦二隻を撃沈せり　二、蘭印方面行動中の帝國潜水艦は本十五日までに敵船四隻計二萬七千トンを撃沈せり、なほ同方面帝國海軍艦艇は商船三隻計四千トンを拿捕せり

米の南方進攻路を粉碎

【東京電話】帝國海軍の猛鷲がさる十一日蘭印攻撃の火蓋を切つてから僅かに五日目の十五日またも新戰場を擴大して多大の戰果を收めつゝある旨の大本營發表があつた、十五日發表された新作戰地點はセレベス島の中部コロネダレ、セレベスとニューギニヤの中間に位するテルナテ島、ニューブリテン島のラボールから、ニューギニヤのバボ、ソロン、マラツカ諸島アンボンなどほとんど東蘭印の全部とニューギニヤにおよぶ大作戰地圖において壓倒的進擊を敢行してゐることが明かにされた、去る十一日未明

最初に　敵前上陸したボルネオ島のタラカンからニューブリテン島の要衝ラボールまで直線距離實に二千百哩におよぶ廣大な區域でしかも本作戰最初の英領ニューギニヤ制壓第一擊はニューブリテンの主邑ラボールに加へられ、かつ東部蘭印の中央マラツカ諸島のアンボンに猛烈な攻擊を加へつゝあることは特筆すべきである、すなはちラボールは

濠洲と　の航空基點で別に水上航空基地も有し英國がかねてから濠洲、ニュージーランドの防衞第一線と恃んだ處で又アンボンはニュージーランド、比島間の定期航路、スラバヤ、マタクワリ間の定期航空の基地でその他軍用飛行場の設備もあり、殊に蘭印艦隊は今までアンボンを中心に活動してゐた重要基地である

この一　線を我に制壓されつゝある蘭印艦隊の運命および蘭印、濠洲間に殘存する米英艦艇群の運命も幾ばくもないものとなつた、かくて赤道直下の諸島に加へられつゝある

わが痛　撃に濠洲に戰火の脅威を與へさらに敗戰アメリカがその南方進攻路をとつて反撃する唯一の企圖をも自然に粉碎するものとして新作戰の前途は極めて注目される

東部蘭印要圖

赫々陸軍綜合戰果
一月七日から十四日まで

大本營發表（十五日午後四時）帝國陸軍部隊の一月七日より十四日までにおける各方面の戰況左の如し

一、マレー方面

（一）西海岸方面　一月二日カンパル附近の陣地を突破せるわが部隊はスンカイ、タンジョンマリムを經て進擊を續行し、七日トロラク、スリム附近に堅固に陣地を構築せる有力なる敵に對し攻擊を開始す、敵は後方に戰車障礙物を設け近代的築城を施し、頑強に抵抗せるも我が部隊は有力なる航空部隊支援のもとに強大なる戰車部隊を骨幹とする步、戰、砲工綜合戰力を巧に敵陣地の要部に指向して一擧に十五キロにわたる敵主陣地帶の全縱深を急襲突破し、隨所に敗敵を蹂躙して後二ケ旅團の敵を殲滅し戰車（輕裝甲車）五十輛、重砲十三門、その他各種大砲五十五門、自動車五百輛を鹵獲せるほか俘虜約二百を得たり敵の遺棄死體三百を下らず、軍は引續き本道方面および海岸道方面より追擊を續行すると〻もに所屬航空部隊をもつて敵飛行機および潜水艦の襲擊を避けつゝ巧に海上を機動してクランの南方モリブに上陸し要衝クアラ・ランプールの背後に進出せしむ、かくして卓越せる統帥と空陸一體の神速果敢なる追擊とにより敵は指揮錯亂混亂し遂にクアラ・ランプールを放棄して退却を開始するに至り先鋒部隊は十一日完全にこれを占領し十二日にはカヂヤン、カンポン、デンギルの線を通過しネグリセンビラン州を經てすでにマラツカ州境を突破し十四日夕にはゲマスに突入、敵を急追中なり

（二）東海岸方面　三日クワンタン西方を攻略せる機甲部隊は西海岸方面の主力部隊に策應し引續き南方に向ひ追擊を續行中にしてその先鋒はベガン附近に達せるもの〻如し

（三）陸軍航空部隊　はあるひは敵の砲兵部隊を攻擊して戰車隊の進出を容易にしあるひは敗走中の敵列車を粉碎しつゝ、その退路を遮斷し、あるひはマラツカ海峽の敵船舶を求めてこれを攻擊し敵の機動を阻止するなど緊密に地上部隊の戰鬪に協力してその追擊を容易ならしめつゝあり、また舊臘來選拔せる精銳機をもつて十三回にわたりシンガポールを夜間急襲して應接の遑なからしめるとゝもに敵に多大の損害を與へつゝあり、地上部隊のクワンタン、クアラ・ランプール進出に伴ひ有力なる部隊の推進を完了し十二日には戰爆聯合の大編隊をもつてラングーンを空襲し敵新銳戰鬪機スピットファイヤ、フォーカー、ハリケーンと交戰、八十一機を擊墜（うち十七機不確實）十四機を地上爆破し、敵空軍に殲滅的打擊を與へるとともに埠頭軍事施設發電所などを爆破炎上せしめたり、爾後七回にわたりラングーン近郊ミンガラドン飛行場を、三回にわたりモールメン港を攻擊し殘存敵機ならびに諸軍事施設を潰滅せしめるとともに船舶數隻を大破せしめたり

二、ビルマ方面

開戰劈頭、泰、ビルマ國境に近接せる敵飛行場タボイ、ゾルギー、ビクトリヤポイントなどを急襲せる陸軍航空部隊は舊臘二十三日二十五日の兩日にわたり戰爆聯合の大編隊をもつてラングーンを空襲し敵新銳戰鬪機スピットファイヤ、フォーカー、ハリケーンと交戰、八十一機を擊墜（うち十七機不確實）十四機を地上爆破し、敵空軍に殲滅的打擊を與へるとともに埠頭軍事施設發電所などを爆破炎上せしめたり

同方面敵空軍はすでに士氣沮喪して戰意に乏しく、その大部隊はジヤバ、スマトラ方面に退避せるもの〻如し

三、比島方面

マニラ攻略後軍は新鋭部隊をもつて九日夕よりヘルモサ南方の敵を攻擊、これを南方に壓迫し多數の軍需品を鹵獲せり、鹵獲品中多數の弾丸を發見、之を押收せり、翌十日以來主力は敗敵を急追しつゝ南進しマベタン西方の錯雜せる地形を利用し堅固なる陣地を構築せる敵に對し猛攻中にしてその一部は十日スビック灣東岸の要衝オロンガポ十二日にはグランデ島を攻略し要塞重砲二門を鹵獲せり、マニラ攻略に當り得たる戰果中一月十二日までに判明せるもの左の如し

火砲四門、機關銃五十挺、銃器一萬三千、銃砲彈六十七萬四千九百發、自動車五百輛、鐵道車輛七十六輛、船舶九十一隻、揮發油その他油など多量、糧秣、被服、衞生材料多數

しが、三百有力なる一部隊をもつてウエストン奇襲上陸を敢行ゼツスルトン、ボーフォードにありし約六百の敵を武裝解除するとゝもに監禁中の邦人二百九名を救出せり、またクチン警備隊はバウ方面を掃蕩し鹵獲戰車二輛、自動車十五輛、ガソリン多量を鹵獲、俘虜將校二、下士官十四を得たり

四、英領ボルネオ方面

英領ボルネオ上陸部隊はその後占領地附近の敵掃蕩作戰および敵側の破壞せる油田復舊に努めつゝあり

五、蘭領ボルネオ方面

蘭領ボルネオ方面作戰部隊は海軍部隊と協力し十一日午前零時二十

六、支那方面

分敵機の襲擊を擊退してタラカン市に對し急進、十二日午前同島防衞司令官以下多數の敵を降伏せしめたり

支那大陸における作戰は南方作戰に呼應し舊臘來重慶政權が豪語せし總反抗を機先を制して徹底的に粉碎し着々戰果をあげつゝあり、大東亞戰爭開始後一月十二日までに得たる戰果左の如し

遺棄死體一萬四百四十九、俘虜一千七百八十八、迫擊砲十六門、山砲二門、機關銃八十七挺、小銃四千四百七挺、その他軍需品多數にしてわが方の損害は戰死百八十一、戰傷五百八十一なり、なほ重慶側は最近長沙その他においてわが軍に大なる損害を與へたる如く虛構宣傳に努めあるも右の戰果に徵するも事實無根なること明かなり

（上地）に爆破されたた敵戰闘機（海軍省提供）＝電送＝

不拔の要塞島ウエーキー島一擧占領の跡

殘存英野戰軍を壓縮
愈よシ要塞攻擊へ
マレー作戰最後段階

【マレー前線○○十五日同盟】わがマレー攻略戰は十四日遂にジョホール州境以北における英野戰軍を完全に剿滅し、十五日劈來わが大日章旗はジョホール州內に飜へり、こゝにマレー戰局はいよいよシンガポールを目指して要塞攻擊戰の段階に入つた

すなはち、クアラ・ランプール攻略後南下したわが西岸進擊の大縱陣は、機甲部隊を先頭に十三日正午より十四日正午に至る間にか十四時間に、ネグリセンビラン南北に縱走し、十四日夜○○市附近において州境を突破しジョホール州に進攻、引續き敗敵を急追中であるが、またマラツカ海峽に臨む海岸道を進擊した海岸部隊は十四日正午クアラ・ランプール西南方○キロ○○附近においてマラツカ州に進出し、一擧にマラツカ州北半を縱斷したのちジョホール州に向つて銳鋒を轉じ、同日午後五時○○西南方十四キロの地點で潰走中の敗敵凡そ六百を殲滅しジョホール州に突入わが南進部隊と緊密の握手を交した、さらに東岸方面においてはクワンタンよりパハン河を敵前渡河し東海岸沿ひに敗敵を急追前進を續けつゝあつた○○部隊は十四日薄暮ジョホール州境を突破し、クワンタンとともに東海岸における敵軍要據點たる○○市を占領し、堂々戰果をジョホール州內に進め引續き掃蕩を續行中、またクリンタンより西に敗敵を追擊しマレー脊柱山脈に向つて突進した○○部隊は十四日午後四時四十分マレー脊柱山脈頂上の街たる○○市に突入、同方面に彷徨する敵第九師の敗殘部隊を擊碎しつゝ進路を西南にとりパハン河流域○○の方面に進擊中であるかくて殘存マレー英野戰軍は遂にマレー最後の一角たるジョホール州內に完全に壓縮され英東亞搾取の本據シンガポールの運命も刻々に迫りつゝある

わが空軍基地躍進
シンガポール爆擊熾烈

【リスボン十五日同盟】ロンドンよりのロイター通信の報道によれば日本軍はすでにシンガポールを距る○○キロの地點まで迫つた模樣であるが、退却をつゞける英地上部隊の所在地點も戰鬪狀況もロンドンでは一切不明でたゞ日本軍航空部隊のシンガポール爆擊がますます熾烈しつゝあることにより日本軍の基地が著しく前進したのを知るのみである

政府提出法案の審査を開始
衆議院調査會を活用

【東京電話】衆議院は十五日より調査會を活用して政府提出法案の審査を開始し、午前は商工部會を開き帝國鑛業開發會社法改正案ほか四件の說明を聽取したが、午後一時卅分より陸軍部會を、次で海軍部會をそれぞれ開催、陸海軍關係法案の說明を聽取し散會したなほ十六日は午前十時農林部會、午後一時卅分より、內閣、司法、厚生の各部會を開催して、說明を聽取し十七日には內務、大藏、十九日は外務、遞信、鐵道の各部會を開き、政府提出法案の事前審査を完了廿一日よりの再開議會に臨む豫定である

衆議院調査會商工部會

【東京電話】衆議院では議會再開前に調査會を開き各省提出法案の豫備審査を終つて議案審議の促進をはかることゝなつたが、同調査會豫備審査の第一日は十五日午前十時より院內に商工部會を開會、議員百餘名ならびに商工當局より神田總務局長以下各省關係官出席商工省提出の

一、重要物資管理營團法案外四法案

に關し當局側より提案理由ならびにこれが內容を說明、議員との間に質疑應答を重ね午後零時半散會した

＝人＝

◇李家源甫氏（全北知事）十五日入城朝鮮ホテル

和蘭と蘭印
敵國として取扱ふ
大藏省告示

【東京電話】帝國は十一日蘭領印度と交戰狀態に入つたので大藏省では敵產管理法令に基づきオランダ國および蘭領印度を敵國として取扱ふ旨一月十六日附告示することになつた

【十五日發行】
夕刊
京城日報
夕刊一部　定價金二錢
京城府太平通一丁目三十一番地　京城日報社

皇軍ジョホール州に突入

シンガポールへあと四十里

東西呼應、怒濤の猛進撃

ストツクホルム特電【十五日發】シンガポール來電によればマレー西岸南下皇軍部隊のマラッカ州突入の怒濤的猛進擊に呼應東海岸クワンタン地區より南下中の東岸部隊もあらゆる地理的、戰略的不利を克服、隨所にイギリス軍を擊破しつゝ急南下を續け十四日には既にパハン、ジョホール州境に怒濤の如く殺到した、こゝに東西兩部隊ともマレー半島に殘された一角ジョホール州に向つて一擧突入の態勢をとることとなりマレー戰線は愈よ白熱的クライマックスに到達したが、ジョホール州境よりシンガポールまでは僅か四十里を餘すのみであり、シンガポールの陷落は刻一刻と增大しつゝある

【マレー戰線○○十五日同盟】わが東西兩岸進擊部隊は十四日夜相呼應してマレー半島末端ジョホール州に突入、シンガポール目指して最後の猛進擊を展開中であるが、戰線は東西實に百五十キロの正面をもつて精銳諸部隊相合しマレー末端部に餘喘を保つシンガポール防衞軍約三萬を壓縮全くこれを袋の鼠と化せしめ、わが包圍殲滅の布陣はこゝに確立英東亞軍最後の日は刻一刻と迫りつゝある

【マレー戰線○○十四日同盟】クアラ・ランプール周邊に集結してゐた敵兵その三萬は敵がマレー防衞野戰軍殘存部隊の殆ど全部を擧げて配備してゐたもので、彼にとつては實に乾坤一擲の最後の決戰のつもりであつたことが明かとなつた、しかしクアラ・ランプール周邊及びスリム附近においてわが進擊部隊のためこの野戰軍が包圍殲滅されるや敵の防衞計畫は根こそぎに覆へされ、クアラ・ランプール以南の戰鬪においては陣形を再建する暇もなく潰亂に潰亂を重ね、今は最後の手段として爆破戰術に出で、わが進擊を僅かでも遲くするといふ消極策をとるほかなきに至つてゐる、斯くて正午すぎわが鐵牛部隊を陣頭とする精銳は早くもマラッカ州境の要衝○○を手中に收めるとともに續いて州境を突破、さらに有力部隊はネグリセンビラン、ジョホール州境に向つて、敗敵をひた押しに壓縮しつゝあり、斯くてすでに防禦軍としての實力を失つたマレーイギリス軍は半島の末端へ末端へと最後の運命に向つて追ひつめられてゐる

【リスボン十四日同盟】シンガポール來電によれば英東亞軍司令部はマレー戰況につき十四日次の如く發表した 一、クアラ・ランプールはすでに日本軍によつて占領された 一、英軍は日本軍の追擊を阻止するため大規模の破壞戰術に出で嚴しき後方陣地に撤退中である 一、日本軍航空部隊は十四日ジョホール州境タムピンおよびマラッカ州境ゲマスを爆擊し鐵道を破壞した 一、日本軍航空部隊は彈日シンガポールを空襲し 一、英東亞軍管下の空軍部隊は十三日夜泰國シンゴラを空襲し停車場附近の建築物を爆擊した、また他の一編隊はポートスウェッテナム（日本軍占領地）を爆擊し火災を生ぜしめた

わが鐵牛部隊ジヤンゲルを突破　敗敵を急追
マレー戰線（陸軍省檢閲濟）＝電送＝

交戰國外交官　交換近く實現か

【ヴイシー十四日同盟】ポルトガル船ニアッサ號が交戰國外交官交換のため近くニューヨークに向けリスボンを出發するとの報道は米國側から一應否定されたがアヴァス通信ワシントン電によればハル國務長官は十四日の新聞會見の席上米國政府は樞軸國側に駐剳する米外交官と米國に駐剳する樞軸國側外交官の交換を考慮中なる旨言明した

駐ソ英大使辭任か

【リスボン十四日同盟】ロンドン十四日アヴァス電によればクリップス駐ソ英國大使は十四日本國政府に對し辭表を提出したと傳へられるが、クリップスは歸英のうへ政界に乘出す意向と傳へられる

大東亞戰決定

各戰線とも敗北必然

英側放送

チューリッヒ特電【十四日發】イギリスBBC放送局は十四日左の如くニュース解說を試み米英側の西南太平洋各戰線に於ける決定的非勢を全く露骨に告白、注意を惹いた

一、マレー戰線　現在シンガポールが直面しつゝある危機は一九四〇年初夏フランドルの大敗によつてパリが直面せる危機以上に深刻なものだ、時のフランス首相レイノーはこの當時アメリカに對し『雲の如き飛行機を送れ』と哀訴したがシンガポールは『雲の如き飛行機』なしにはその死を免れることは全く不可能だ、目下イギリス軍はセレンバン北方の最後の防衞戰を行ふべく態勢を整へつゝあり、工兵部隊は一分間でも日本軍の進擊を阻止せんとしてゐるが、ここで敗走すればシンガポールに取つて直ちにパリを目指すドイツ軍のマヂノ線突破を意味するであらう

二、蘭印戰線　日本軍の蘭印作戰の進捗は我々に大きな恐怖

敵一機を爆破

デナルピアン飛行場を急襲

【比島前線○○基地十四日同盟】根據地の爆擊、敵情偵察、據點化…地上部隊と協力敵軍事施設、空戰部隊の擊滅など赫々たる戰果をあげ…

比島作戰

バタアン要塞線一角を突破

皇軍十名で○○島を無血占領

【比島バタアン半島前線十五日同盟】最後のあがきに死物狂ひに抵抗する米軍の殲滅を期するバタアン山の密林地帶からマニラ灣岸にかけて深甚極まる攻防戰を展開してゐるが、敵が構築した陣地は一名バ…蔽されてをり、わが軍は引續き航空部隊の協力を得てこれが立體的突破作戰により敵陣地を見事に制壓、砲九門を粉碎した、流石堅塁を誇つた敵陣地もこ…活氣を失ひバタアン要塞の陷落もすでに不可避と見られるに至つた

【比島バタアン半島前線○○十五日同盟】スビック灣口の○○島はコレヒドール島に次ぐ要塞で…十日オロンガポを占領した○○…校以下十名の皇軍勇士に呆氣なく占領された、…始したが、灣口の○○要塞の制壓は作戰にも重大影響があるので阿部源太郎少尉（愛媛縣出身）以下十…ろから漁船をこいで同島に向ひ北側から背後に上陸した、同島守備の地方兵は皇軍上陸西南側から漁船で逃げ出してしまつた、敵情偵察の阿部少尉はかうし…丸一萬發を鹵獲して島上高く日章旗を揭げた

蘭印作戰

敵航空基地占領

陸戰隊ミナハサ一帶を制壓

大本營發表（十五日午前十一時四十分）メナド方面帝國海軍特別陸戰隊は十四日までにセレベス島北部ミナハサ一帶の敵要地を攻略敵航空基地を占領せり、同作戰において戰車、野砲、機銃、小銃および爆彈その他軍需品多數を鹵獲せり

蘭印既に絶望
和蘭亡命政府早くも觀念

【リスボン十四日同盟】ロンドンにはオランダ亡命政權以下多數亡命オランダ人が戰局の推移に神經を尖らせてゐるが、ユーピーロンドン電によればセレベス、ボルネオ島の將來はもはや絶望だとしてゐる、唯一の希望は反樞軸聯合軍總司令官ウエーヴエル將軍が本據をジヤバ島スラバヤに置きいよいよ西南太平洋の防備に邁進するとの報道のみである

荒鷲又も蘭貢に巨彈

【上海十四日同盟】ラングーン來電によればビルマ英陸軍司令部は十四日午前六時五分（ビルマ時間）ラングーン北郊飛行場を爆擊した…

鮮滿定例懇談會設置

今後兩者の總ゆる問題檢討

大東亞戰下、鮮滿一如の強化を期する目的の下に入城の滿洲國武部總務長官を迎へた朝鮮總督府では十五日午前十時から第三會議室に〝鮮滿懇談會〟を開催、滿洲國側から武部總務長官、桶口企畫處參事官、松商務司長、關東軍司令部黑川大佐、同門田中佐、朝鮮側から大野政務總監以下各局部長、川岸聯盟事務局長等出席、劈頭武部滿洲國總務長官は今回の來訪の目的を約三十分間說明、鮮滿一如、大東亞…

武部・官長局長會談で決定

各道高等外事課長會議

保護日獨人　墨米に護送

カナダ、女子強制徵用

米軍需生產局設置

英本國軍の一部印度軍編入

獨潛、英商船擊沈

マニラに放送局復活

【マニラ十五日同盟】マニラ市の治安は皇軍の…

時の歸着

＝人＝

カナダ、邦人に移住命令

待つてましたゾ
わが軍樹上から手榴弾の雨
クワンタン奇襲攻略記

【マレー戦線〇〇十四日同盟】密林と暁靄を突破して突如敵背後に現れ、マレー東岸の最大要衝クワンタンを攻略したわが機械化部隊の奇襲戦法は全く敵の意表に出たもので、皇軍にしてはじめて企図し得る精神力の戦ひであつたが、以下は同部隊の神出鬼没の進攻記録である

十二月廿七日部隊はヘンゴロツク河岸に到着した、斥候の報告によれば河の南岸四キロの辺りに強固な敵陣地があるといふことだ、部隊長は強力な敵との正面衝突を避け全隊右方山岳地帯に入り、領前に敵の左側背に迫るべく決意し、直ちに全員をトラックから降し転進を命じた、夕闇のなかを西方へと今度は徒歩で前進した、二キロも行くとマングローブの木の生ひ繁る湿地に出た、腰まで入る沼地に強行軍を続けるうち廿八日の朝が来た、部隊はわづかな敵襲しか待たないため白昼敵と遭遇しては甚だ不利だ、日中は密林中に潜伏し、夜再び暗夜の前進を開始した、ジャボール・ヒラの部落に達したわが部隊はジャボール・ヒラに敵部隊がゐるものと見当をつけ同夜半敢然これに夜襲、部落にあつた敵警戒兵を殲滅した、同夜および翌廿九日の日中はまたもやジャングルに身を潜めて待機し、廿九日夕方から行動を起しジャボール・ヒラの南四キロジャボール・テンガに敵の一部隊が布陣してゐるのを察知、同夜半またもやこれを夜襲し逃げ惑ふ敵を追つて一気に前進した、しかるに今度は前面ケチレイ部落に警車を有するらしい有力な敵がゐることが判明した、部隊長はこれに対し同夜二回目の夜襲を行ふ決心を固め、部隊の一部を同部落の左側背に迂回した、この部隊は敵背後の道路に出て全員樹上に登り手榴弾をもつて待構へた、かくて主力部隊は夜陰を利してケチレイに正面から突入すれば敵は全く不意を衝かれ、約二百の全兵力が瞬時にして全滅してしまつた、この間敵軍は五輛あつたが、わが奇襲に慌て南方へ逃げ出したちやうど樹上に待構へる我迂回部隊の眞下をお誂へむきに一列で通つたので、忽ち樹上から手榴弾の不意打を喰ひ車内に直撃弾を浴びて五輛とも全滅してしまつた、卅日夜同部隊はマレー東岸の敵最大要衝クワンタン西北八キロの地点に現れ余勢をかつて同市に突入、市内を掃蕩した、部隊は大晦日と元日をクワンタンで過した部隊は一日夜また行動を起し、一部は市街の南方を流れるクワンタン河岸に進出、主力も激戦を開始した、同二日夜全部隊夜陰に乗じてクワンタン河を渡り、市の西方十キロの地点にあるクワンタン飛行場の北四キロの密林中に入つた、翌三日朝と同時に部隊主力は一気にクワンタン飛行場に突入、狼狽した敵中に躍りこんでつひに敵兵二百を斃し三百を捕虜としたほか、自動車五十輛を鹵獲する大戦果を挙げた、かくて最重要根拠地クワンタンを奪はれたマレー東岸の敵はその後なすところを知らず、総退却を余儀なくされたのである

旅客運賃を値上
急行、寝臺料金なども四割以上
愈よ二月から實施

決戦下鐵道輸送の重要性に鑑み浮動購買力の吸収、戦時財源の強化、鉄道輸送力の調整等から鮮鐵では内地の如く鐵道運賃の調整につき準備を進めてゐたが、準備なつて一般旅客運賃、急行料金、寝臺料金の全面的改正が斷行されることとなり二月一日から實施される、旅客運賃は大正九年以來今日まで据置かれてゐたものが、二十三年ぶりに改正されたもので、旅客運賃は從來一粁三等一錢五厘五毛、二等二錢八厘、一等四錢四厘が、改正運賃によると三等を標準として一粁二錢で二等はその二倍、一等はその三倍の計算方式となつてをり、端數の計算は二捨三入法を清算、小兒運賃とともにこれを切上げ五錢、十錢に切上げとなつた、又急行料金は近距離旅客の抑制するため遠距離遞減方法を採用、大體四割から十割の値上げとなつてゐる、寝臺料金は上段を除く四割から六割の値上げとなつてゐるなほこれが大要につき鮮鐵では十五日左の如く發表した

一、一般旅客運賃 現在の旅客運賃は三等一粁に付一錢五厘五毛、二等同二錢八厘、一等同四錢四厘といふやうに各等級別に賃率が定められてゐるが、改正賃率は三等についてのみ表示され一粁に付二錢に引上げられた、この場合の運賃計算上の端數は現行のいはゆる二捨三入法を清算し旅客運賃も小兒運賃も總てこれを切上げ五錢又は十錢單位とするとに改められた、即ち三等普通運賃は旅客賃率五錢又は十錢未滿の端數を生じた時はこれを五錢又は十錢に切上げたものである、二等普通運賃は三等普通の二倍、また一等普通運賃は三等普通運賃の三倍である、なほ鐵道運賃の改正を機として自動車運賃の賃率を一粁に付四錢に改正した、計算方も鐵道の運賃と同様の方法によることとなつた、これにより光陽線にあつては三錢二分、會寧線にあつては僅少の値上となる

二、定期旅客運賃 普通運賃ならびに團体旅客運賃は極めて低廉なので今回の普通運賃の引上に伴ひ當然その運賃も改訂されねばならないのであるが、その社會政策的見地ならびにこれが制定の使命に鑑み改正運賃は現行賃率はその儘に据置かれた

三、回數乘車券 回數乘車券の割引率は現行通りであるが從來同行者四名以内の使用を認めてゐたのを中止め記名本人に限るとした

四、特定運賃 特定運賃は現在龍山線（京城―龍山間）及び安東―新義州間に實施してゐるが、普通運賃引上に伴ひ五錢區間を廢止し總て一般運賃に算出方によることとした、又は一般運賃の設定を有無に拘らず運賃の最低は割引の有無に拘らず大人十錢小兒五錢である

五、粁券 粁券は當局線内を旅行する遠距離旅客に對し運賃を輕減する見地から發賣されてゐたのであるが、その制度の廢絶なる割合に利用者は僅少なのに鑑みこれを廢止することとした

六、急行料金 急行料金の引上はまとして近距離旅客の乘車を抑制するため、近距離に重く遠距離に輕くなる樣考慮し四割乃至十割程度の値上となつてゐる、なほ料金の地帶別は局線内相互間の場合にあつては現行三地帶制を二地帶制に、また滿鐵、華北線と連絡運輸の場合にあつては五地帶制を三地帶制にいづれも改正した、その料金左の通り、局線内相互間の場合

【イ】普通急行料金

	八〇〇粁迄	八〇一粁以上
三等	一圓五十錢（舊一圓）二圓	
二等	一等三圓（舊二圓）四圓	

【ロ】特別急行料金

一等	四圓五十錢（舊三圓）六圓
二等	四圓（舊二圓五十錢）
三等	二圓（舊一圓二十錢）

滿鐵線、滿鐵線及び華北線相互間の場合

	八〇〇粁迄	一二〇〇粁迄	一二〇一粁以上
一等	六圓（舊四圓）		
三等	二圓	一圓五十錢	二圓五十錢
二等	三圓	四圓	五圓
一等	四圓五十錢	六圓	七圓五十錢

七、寝臺料金 寝臺料金も四割乃至六割程度の値上となる

三等〔上段 一圓五十錢（舊一圓）　中段 一圓（舊一圓五十錢）　下段 一圓五十錢（舊一圓八十錢）〕

二等〔上段 五圓（舊三圓）　下段 七圓（舊四圓五十錢）〕

一等〔上段 八圓（舊五圓）　下段 十圓（舊七圓）〕

（普通乘車券（普通乘車賃））

	四十粁以下	八十粁以下	百二十粁以下	百六十粁以下	三百粁以下	五百粁以下	五百粁を超ゆるもの
等級							
三等	—	五錢	十五錢	三十錢	五十錢	七十錢	一圓
二等	十五錢	廿五錢	五十錢	一圓	一圓五十錢	二圓	五十錢
一等	三十錢	五十錢	一圓	三圓	五圓	七圓	十圓

▲定期乘車券　三等定期乘車券は除外となり二等定期乘車券のみ從來の税率によつて課税される
▲貸切乘車券　三等貸切旅客運賃の百分の十、二等同百分の十五、一等同百分の二十
▲急行券、寝臺券、急行券に對する通行税は從來一律に一割課税であつたのを新に三等に一割、二等二割、一等三割と改正、寝臺券にも今までなかつた通行税を課することとなる（新規）
▲自動車に乘車の場合は三等旅客として所定の通行税を課せられる（新規）
▲回數乘車券、團體乘車券は從來通りの税率により課税される

なほ鮮内各私鐵線においても當局の旅客運賃の改正を機に適當と認め同趣旨により運賃の改正を進めることとなり、金剛山電鐵の旅客運賃は左の通りで約三割の値上となる

京城―西平	一等	同	四錢
朝鮮京南	二等	一粁につき	三錢五厘
西鮮中央			
其他の各私鐵は	同		

またこれと同時に改正通行税も二月一日より左の通り實施される見込みである

關釜連絡船運賃も値上

下關釜山間の連絡船の運賃改正は未だ決定してゐないが大體三等五圓（舊四圓二十錢）二等十圓（舊八圓五十五錢）二等十圓（同七圓卅錢）一等十五圓（同十圓）に改正され四月一日から實施の予定で準備を進めてゐる

改正新運賃

急行料金、新通行税を含めた釜山起點とこの主要驛間改正運賃は次の通り

◇釜山―京城間　一等廿五圓廿錢（舊十五圓廿錢）三等十一圓四十錢（舊八圓十錢）

◇釜山―平壤間　一等卅七圓（舊廿三圓卅五錢）三等十一圓九十錢（舊十圓五十五錢）

◇釜山―安東間　一等四十七圓八十錢（舊卅四圓八十五錢）三等十七圓六十錢（舊十二圓五十五錢）

◇京城―滿浦間　一等二十九圓二十錢（舊二十四圓六十五錢）三等十七圓八十五錢（舊十三圓二十五錢）

廿三年振り
武内旅客係長語る

浮動購買力の吸收、輸送力の調整強化等のため運賃の改正を行ふ施設改善等を加へた戦時財源の調達は二月一日から斷行される旅客運賃の大改正につき鮮鐵武内旅客係長は語る

二月一日から斷行される旅客運賃の改正は料金改正を鮮鐵の歴史から見ると明治卅九年までは不統一であつたので同四十一年遠距離遞減法を採用したが社會事情に適合しないので同四十五年に現在の距離比例法とした、大正九年世界大戦の經濟事情に即應し三等一割五分、二等二割八分、一等四割に改正、昭和五年メートル法實施で哩法をキロ法に變更、今回は實に廿三年振りの改正である、この値上げも一般の物價指數に照合すると事變前十一年度を基にして物價指數は五割から六割位の値上りになつてゐるのに對し旅客運賃はその中で今日に及んだのだ、今回の平均三割の値上に比べ依然物價政策に順應してゐることを御諒解願ひたい、料金改正による年間增收は約三千萬圓である、なほ急行料金は從來の鮮内三段階を二段階とし満鐵及内地遠距離旅客のため遞減方針をとり鮮鐵の大陸への玄關としての役割を果してゐる譯である

麥に代つて粟
混食に滿洲から輸入

久しく叫ばれてきた米穀の混食が麥類の供出の都合でキビ、高粱、玉蜀黍が入る場合もあるが、大體麥混食一本で行く筈で而もこの麥栗は從來嫌忌されてゐた栗と違つて國際檢査をうけた良質のもので食糧としては格好のものであると當局でも激賞してゐる、なほ各地の麥配給に次いで各都へも配給の粟の配給と麥不足のため近く米の混食にも不足される、京城府では當局の麥不足を補ふため麥に代る粟穀として滿洲國から粟を輸入することになり三井、三菱の手を通して各道糧穀組合に配給されるが各家庭への配給は京城、仁川、開城が來る十日頃から三月まで第一回分として配給される、併しこの粟穀も麥穀不足に惱んでゐる農村に注ぐ一部といへる

床板が落下
四十三名重輕傷
けさ京城商業實践學校の椿事

京城府金湖町十六京城商業實践學校では十五日午前九時半から二階で三學期の始業式を擧行してゐた際突如床約十五坪が一階へ落下生徒約二百五十名のうち四十三名の重輕傷者を出した、重傷者は十名で直ちに昭和通瀬戸病院、黄金町四壹吸病院に擔ぎ込み應急手當を加へてゐるが、同校舎は總建二階建で昭和十二年秋に竣工したばかりであり、原因について目下城東署及び京畿道警察部で調中である

"申譯なし"
校長今野道夫氏談

頭かして濟みません昭和十三年十月竣工してまだ大丈夫と思つてゐました、全く突然の不幸です、幸ひに死者はなく傷ついた生徒の經過がいづれも好いのが不幸中の幸です、よく原因その他取調中で今何も申上げられません

"あツといふ間に底拔け"
負傷の成川君

足に全治一週間の傷を受けた三年

『陰の半島防空戦士』訪問記 ―
頑張れこゝ數ケ月
―北村防護課長から― 烈々たる激勵

【〇〇にて渡邊特派員】防空監視哨は山の上にある、時にもある、氷の谷を渡り、雪を蹴つて山を登ると登りつめた冬空に裸の監視哨が一つ聳えてゐた、山の上の凍えきつた寒氣が、大氣を眞空のほど稀薄にするのであらう、みはるかす峰々は果しらず紫につらなり、海は白々と輝いて西と南に展けてゐる、陸と海との一方向にこゝの監視哨の任務はあるらしいこの日雪の中を訪問した北村防護課長は隊員を前に

"緒戦の大戦果は米英よりの空襲を封じてしまつた、おそらくは諸子は氣の拔けた形ではないかと思ふ、然しながら

諸子 がつづけて來た訓練を試めす眞の時期はこゝ數ケ月以内に來るかも知れない、諸子よ！國土防衛の目と耳である諸子よ！諸子の第一發の不成功はつねに國土防衛全體の不成功を意味することを深く銘して努力して欲しい"

と防空監視の重要性を説いて激勵した、山の中の監視生活にいつとう樂しいさうした訪問を受けてゐるときでも、屋根の上の哨塔には空を睨んで監視員が立つてゐる、監視は一時間交代で廿四時間、夜も晝も

間斷 なくつゞけられる、哨塔はガラス張りにはしてあるが遠いかすかな爆音でも聽きのがさないため戸を閉めることを許されない、朔風の吹きすさむ中に窓ガラスは夏のやうに開かれてゐるのだ、この前の雪の夜には十五米の風に吹かれて哨塔の中に五六寸もの雪が積んだ、手や脚はみるみる凍えて襲つて來る、そんな晩でも火も入れられず話も出來ない、防寒靴を穿いた足を音のしないやう搖り動かしながら、哨員はぢつと空を睨んでゐなければならないのだ、かすかな

汽笛 かすかつた神經をくすぐつたり、狂つた自動車のエンジンがふと爆音に聞えたりする"くそツ！"と腹が立つのも無理はないのだ

【寫眞―〇〇防空監視隊】

ホノルル突如空襲警報
市民は大混亂

【リスボン十四日同盟】ホノルル來電によればホノルル時間十三日午前十一時四十二分オアフ島に突如空襲警報が發せられホノルル市民を大混亂に陥つた、空襲警報が發せられるまでホノルル上空には一台の飛行機も哨戒してゐなかつたがサイレンの音が鳴り渡るや米陸軍戦鬪機が狼狽して舞ひ上り海上の彼方に飛び去つて行くのが見られた

"床板落"の状況を語る中成川甲榮君（二〇）はベツトから式の最中突然足下の床がめりめりする音を聽いた、その後は何も知らなかつた、約三十分の後落ちた一階の隅つこで初めて我頭の床が崩れて一階へ落ちたのが判つた

五棟五十四戸
"欅の村"燒く

十五日午前十一時十分京城府蓬萊町一三〇番地"欅の村"と呼ばれるトンネル長屋の一角から出火折からの烈風に煽られて火勢は猛烈をきはめ瞬く間に延焼、同町内五棟五十四戸をひと舐め、駆付けた消防隊の懸命の消火作業によつて正午ごろ鎮火、原因は同番地京城炭鑛工業會社（三一）方が木工製作中の焚火の火がそれたもので罹災者三百名は附近町内に収容、損害は一萬圓の見込

陸軍將星會葬
故南正吾翁盛大な葬儀

【東京電話】十日夜逝去した陸軍大臣故南正吾翁（陸軍大將南次郎氏嚴父）の葬儀は十五日午後一時半から二時まで東京市杉並區高圓寺六ノ六九二の自邸において神式を以て嚴かに擧行された、南總督代理として杉朝鮮總督府事務所長代理の參列を始めとして總督府側から在京中の水田財務局長、伊藤東京事務官以下東京事務所員、故翁の舊友知己の陸軍諸將星始め朝野の名士多數會葬し葬儀は盛大に執り行はれた

春場所 六日目取組

【東京電話】

汐ノ海―鶴ケ嶺	因州山―布引	岩乃森―加川
照ノ海―駿河海	三根山―瀨ノ洗	廣瀨川―薩摩洋
常ノ山―鷹巣山	金錦―湊谷	雲仙嶽―北見嶺
東富士―大ノ森	達ノ里―朝明山	武ノ里―大熊
一渡―富ノ山	（中入後）	
鯱ノ里―若湊川	雨國―肥	駒ノ里―桂川
大潮山―若湊	松ノ里―神風	小岩―陵岩
樋ノ甲―櫻里	若瀬―岸東里	綾若―淸美川
八方山―旭川	增位山―小松山	九州山―盤石
前田山―清水川	相模川―鹽ノ川	大和錦―九ケ錦
出羽湊―鶴ケ嶺	笠置山―松浦潟	神東山―名寄岩
豐島―玉ノ海	肥州山―二瀨川	十三錦―照國
安藝海―備州山	男女川―佐賀ノ花	鹿島洋―双葉山
櫻錦―羽黒山	前田山―綾昇	

みんな〝瘤〟だらけ

平均地雷三發、砲彈十敷發 敵のお見舞何のその

驀進する鐵牛部隊

【マレー戰線○○十四日同盟】山岳、ジャングル、絡路と、そして濕地帶と、あらゆる地形と不利とを克服し敵陣と敵飛行場の破壞に、歩兵部隊の前衛に活躍中のマレー戰線鐵牛部隊の苦心と華々たる戰果を語る戰車隊長、勇士達は○○の椰子の葉蔭で蠟燭の灯を圍みながら語り明かした

○○部隊長 全般的な情況についていふと、マレー西岸は一本道でしかも兩側はゴム林なので地形的に戰車にとつて一番悪い條件を具へてゐる、大體戰車は不死身だといはれてゐるが、裝甲と火器はシーソーゲームだ、戰線突破と機動力がなければ戰車も何にもならぬ、戰車の運用は歩兵の肉彈突撃以上の精神力を必要とする

島田少佐 (群馬縣) スリムの戰線突破があまり早かつたので敵は完全におさへられ、私どもの行動にまごくしてゐた、スリムの橋梁を確保してから、私は前途中私の方へ向つて逃げて來る敵に機關砲、乘用車が澤山あり、これを一發づつで射止めたり擱坐したりして全く愉快だつた

【記者】負傷者は?

島田 全然ありません

○○部隊長 いやないことはないぞ、みんなの顔を見てやつて下さい、瘤だらけでせう

記者 どうしたわけですか

渡邊中尉 (福島縣) 猛烈に猛進するのであちこちに頭を打ちつけて出來るのですよ、負傷じやない、これがないやうぢや話になりませんや

【記者】戰車は中が狹いから大變ですね、溫度はどの位ですか

増田中尉 (群馬縣) まあ百十度位ですね、暑いのにはいささか弱りますよ

【記者】永い間の戰鬪で食糧など困るでせう

○○部隊長 ア ーンやない、三日や四日食はなくてもいいが、苦勞するのは彈丸の積込みだよ

【記者】敵の士氣はどんなですか

島田 敵の機甲部隊は英人の志願兵が多いと聞いてゐたが、私どもの突入があまり猛烈だつたので正面から斷いて來る裝甲車はないやうだつた、たゞ歩兵陣地では手榴彈を投げ込む勇敢な奴も少しはゐましたよ

【記者】手榴彈を投げつけられたり、地雷を踏んだり、速射砲に射たれたりしたんでは、戰車も堪らないでせうね

島田 いやどの戰車も戰車地雷を二發位づつと、速射砲彈はみな十發以上受けてゐるが、日本の戰車は少々へこむ位のもので平氣ですよ

渡邊 地雷を踏むと凄い衝撃を受ける、後から見てゐると戰車の下部に紅い火がぱつと上り眞赤に見える、あッやられたかと思ふが、戰車はぐんぐんと前進してゐる、平氣ですよ

増田 全く友軍の戰車が後から見てゐると綺麗だな、敵は曳光彈を使用するので機關銃、小銃彈は花火線香のやうにぱつぱつと飛び、時々速射砲彈が當るとぱつと明るくなる、狙ひが上手ならあの光景を描きたいと思ふ

渡邊 敵の裝甲車などは一發射ち込んでやると砲塔からぱつと黑煙が上る、すると乘組士は苦しいものだから砲塔を開けて逃げ出す、待つてゐましたとばかり機關銃でばらばらとやつてやる、愉快です

島田 敵の狼狽ぶりは實に愉快で、例へば陣地突破後、ふとみるとゴム林のなかに澤山敵の自動車がある、試しに一發どかんと當ててやつたら附近の車から蜘蛛の子を散らすやうに敵兵たちが澤山逃げ出した、いつは負傷者だから、テントを射つたら、敵兵がかけ出した

マレー戰線白衣勇士座談會 (2)

止まると危い

自分に構はず早く上陸して呉れ 負傷の兵 激浪に呑まる

酒井中尉 支那式のトーチカと違つて中は幾つにも區切つてあるので能力の銃眼から覗きこまなければ全滅しないんだ、上陸直後で火器は全然なく小銃さへも波にぬらされたり砂をかぶつたりして動かない、たのむはたゞ手榴彈だけだ、全く肉彈とトーチカの取組だつた

宮原軍曹 正面肉薄攻撃の吉丸正良中尉は大腿部に敵の機關銃彈を受けたが『何くそツ』とばかり立ち上つてトーチカに向つて突進し銃眼から日本刀をつッこんで敵四人を突き殺し、次で刀を提げて『突込め、突込めツ』と怒號してゐた

永田少尉 輕機の射手だつた中村良雄上等兵(福岡縣出身)は全身蜂の巣のやうに彈をうけ血まみれになりながらも銃座を離れず、息を引取つたのちもまだしつかり銃を握つてゐたさうです

宮原軍曹 勝田宗七軍曹は背後からトーチカをつき、さらに側面へ廻つて手榴彈を投げこまうとしたが果してゐたため銃眼から砂を浴びせかけて應戰してゐるところを追撃砲にやられ、そのまゝ銃眼にしがみついて孔をふさいでゐたさうです

酒井中尉 後續部隊も彈雨と風をついて續々上陸する、海上はとみれば敵機は益々數を増して物凄に我が輸送船團に喰ひさがり○○丸の中央部は火をふいてゐる、各輸送艇から飛び出す彈道が夜空に交錯する、その間を敵機は狂つたやうにあれまはり一機また二機が夜空を炎々と焦がしておちる

久保田少尉 後續部隊も相ついでトーチカ陣地を突破した、次は飛行場の攻撃だ『俺も死ぬる、みんな續け』と○○部隊長自ら先頭に立つて椰子林の中の砲兵陣地めがけて突つ込む、雨霰と降る彈雨の中を全部隊が火の玉となつてつき進んだ、自分は飛び出すとたんに敵が射ち出す自動砲に眞正面からぶつかつて倒れた、もう助からぬと思つた、煙の中で遙かに祖國の空を仰ぎながら讀んで五ケ條の御勅諭を唱へてゐた、誰かが血止めして呉れた、急に痛くなつた、あゝ右足もやられてゐる、左足も、左手もやられてゐる氣がついて傷口を押へてみると指がぐつと入つてしまつたよ

永田少尉 自分も頭に機關銃を二發食つたが彈が中ると落ち着くもので砲兵陣地を奪取して椰子林の向ふの飛行場に殺到する友軍の喚聲の喊聲が揚るのがはつきり聞きとれた

酒井中尉 しかし明け方近く友軍の飛行機が暗雲を衝いて現はれ、地上部隊の上空を旋回し附近に散在する敵に機銃掃射を浴せて呉れた時は嬉しかつた

宮原軍曹 續いて五機、六機友軍機が旭光に銀翼を輝かせながら飛んで來て敵の飛行場を爆擊し又は悠々○○機に飛び去つて行くのだ、トーチカから死の如く靜まつてきた、海岸の砂濱に起き上つて空を仰いだ時手のある者は手を振つた、わつと上陸部隊から喊聲が揚る、ホントウに嬉し涙がこぼれた

酒井中尉 我々が上陸の際○○艇の兵隊が負傷して流されてゐるのを發見し船を止めて救ひ上げようとしたが、その兵隊は『自分には構はず早く上陸して呉れ、止まると危い』といつたまゝ激浪に呑まれて消えて行つた、全く悲壯だつた

太田中尉 自分達はシンゴラ上陸部隊で、敵前上陸部隊に比べると非常に樂に上陸出來た、それに浪が非常に高かつたので敵襲づいてゐなかつたらしい、上陸するや突撃につぐ突撃、夜襲に次ぐ夜襲で夜擊なしに○○本道をた押しに押して行つた、本道と云つても道幅は二メートル、その兩側はゴムの密林で敵は要所々々に堅固なトーチカ陣地を構築して抵抗する、あしたに一壘を奪ひ夕に一壘を拔くといつた狀態で、これに毎日のやうにスコールが一つつあつてその雨の中を泥まみれになつて進一進して行く、雨がやんで日が照りつけると暑苦しい

梅村中尉 我々は國境……戰だつた

出席者 酒井德重中尉(山口縣) 太田喜三中尉(廣島縣) 梅村利中尉(埼玉縣) 久保田勝二少尉(鹿兒島縣) 永田次左衞門氏(佐賀縣) 高尾米吉少尉(大牟田市) 岡崎四郎少尉(鹿島縣) 宮原晉六軍曹(久留米市)

本社寄託獻金 (十四日扱)

國防獻金

陸軍

百五十三圓 平南城徽國民學校父兄一同

百五十圓 京城府本町四ノ三 石井保二

百圓 京城府相町一ノ八一 平下武千代

▲五十圓 京城府大和町二ノ二七 郎井龍馬 ▲十五圓八十二錢 京城南谷

海軍

▲五十圓 京城府大和町二ノ二七 郎井龍馬 ▲十五圓 京城府大和町二、三丁目第十一區第三愛國班一同

日計金 五百四十八圓八十二錢

總計金 六十二萬五千三百六十四圓八十四錢也

皇軍慰問金

累計金 四十八萬八千九百七十四圓九十二錢也

累計金 十二萬三千八百八十九圓九十二錢也

防空監視隊

累計金 一萬二千五百圓也

文化

擊滅の歌 (1)

淺野晃

田中咄哉州氏筆

紀元二千六百一年十二月八日の朝、米國および英國に對する宣戰の大詔を拜したわが國民は、感激の涙を抑へることが出來なかつたのである。そして、奮つて聖旨を奉じて、この醜の夷らを擊滅せではおかぬとの決意を新たにしたのである。

過ぐる日露戰爭は西洋紀元の廿世紀の初頭に勃發した。そしてわが國はこの戰爭ではじめて西洋の强國を擊滅したのであつた。それまでの近世世界史はたゞ西洋の世界制覇の一方的な歷史であるかに見えてゐた。それが日露戰爭におけるわが日本の勝利ではじめて彼等の一方的侵略は輝くべき抵抗にぶつかつたのである。日露戰爭が世界史の潮流を轉回させたといはれるのは、この故である。日本海々戰におけるバルチック艦隊の擊滅は、近代におけるアジアの最初の黎明となつたのである。

それにつけ、いま、皇國紀元の二十七世紀第一年に當つて、大東亞戰爭の宣戰が布告されたといふこと、意義の深遠なるを思はずにはゐられないであらう。いまや、西洋の侵略勢力の中心たる英國および米國に對し、わが國はこれを一擧に擊滅せんとするのである。この一戰によつて、アジアの黎明は完成されるべきなのである。開戰劈頭にハワイにおける米國太平洋艦隊の擊滅、ならびにマレー沖における英國東洋艦隊の擊滅は、これら兩國の東洋制覇の野望に對する致命的な第一擊であつた。いな、かのプリンス・オブ・ウエールズの擊沈は、それ自體、大英帝國の没落を告げる世紀の弔鐘であつた。

京日歌壇 土井一郎選

上濱を了へしその日に滿吸き開ひ飯食めば茶の香よろしも 京城 松園 秋峽

國境をひたに守りしもののふの雪凝けの面の笑みはたふとし 同 砂世

いつとなく冬來たるらし今日もまた海室の上に翔の眞白き

この日頃記す事もなきわびしさに日記など開きおのれ想ふも 同 甲元利技

わが活けし山茶花の花次々と咲きゆくさまに日々を樂しむ

山茶花の潤くやさしき花の如ありたきものぞ女性の吾れは 馬山 金原 青成

人住まぬとの山寺や松風の刈る生徒等の聲なつかしく響とゆ

十七になる弟は志願兵にわれもなし…

詳細鮮明な ハワイ空襲 次のニュースに

世界未曾有の大戰果ともいふべきわが海鷲のハワイ大爆撃實況は一部既にニュース映畫として公開されたが、何分速報主義に偏した嫌ひが與へられてゐる折柄、その第一報ともいふべき詳細且鮮明に撮影したものが次回封切豫定の日本ニュース第八十號に收められて…

三國志 【704】

吉川英治(作) 矢野橋村(畫)

(赤壁の卷)

孔明・風を祈る (二)